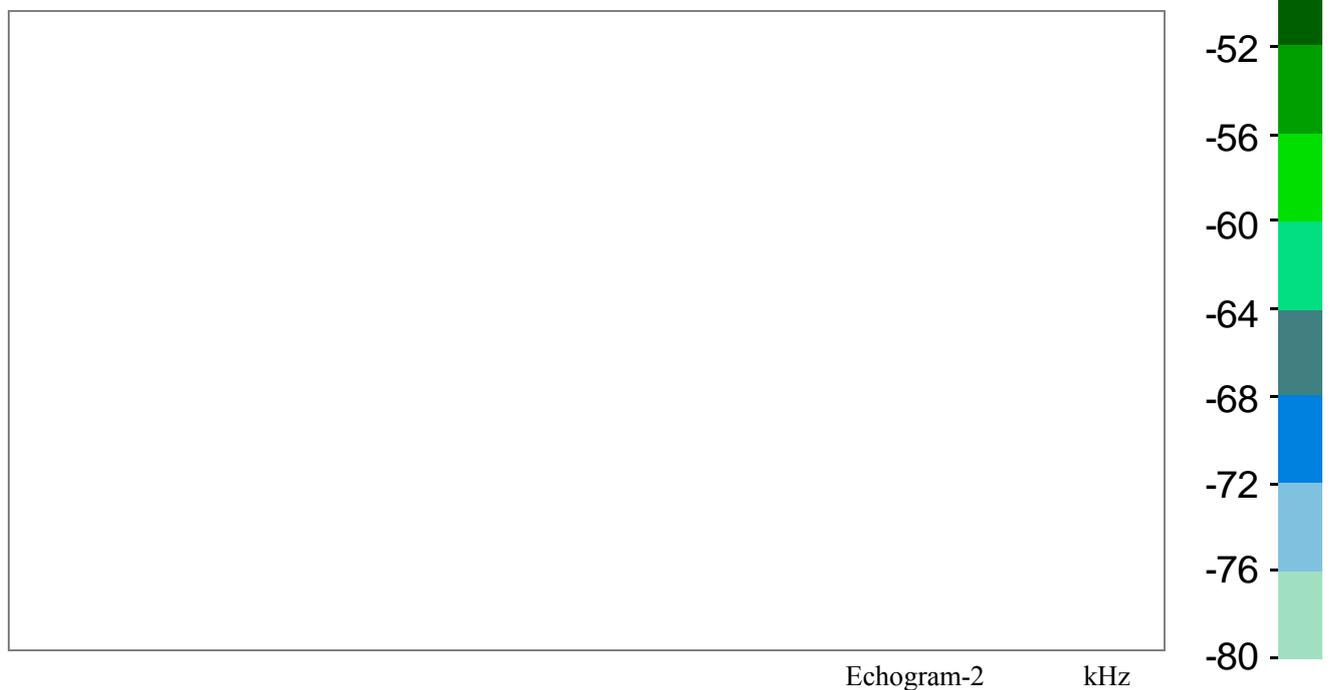
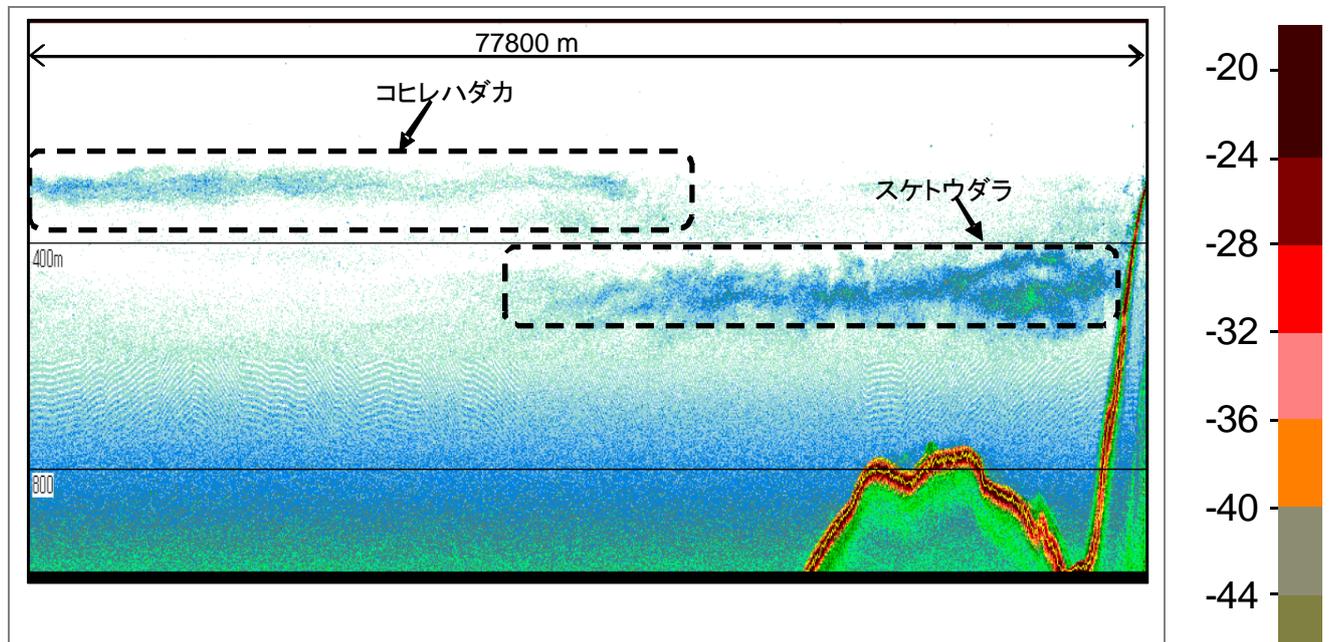


反応構成生物： コヒレハダカ (*Stenobranchius leucopsarus*) , スケトウダラ (*Theragra chalcogramma*)

収録日時：2002年2月26日 (昼間)

収録海域：北西太平洋, アリューシャン列島沖

収録機種・周波数：KFC3000・38 kHz



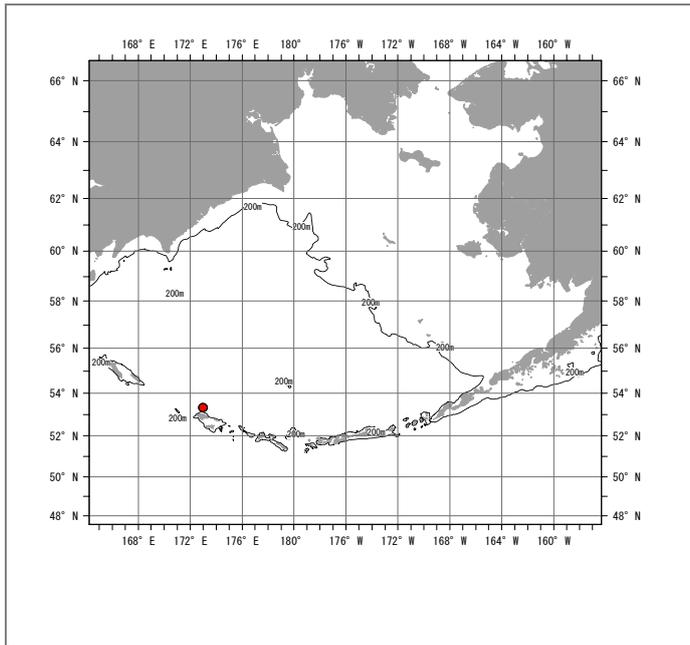
表示スケール： 縦 900 m / 横 77800 m

グリッド間隔： 縦 400 m / 横 なし

表示色・表示  $S_v$  範囲： KFC color ・ -80 ~ -20 dB

データ提供：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター (安間洋樹), 開洋丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

中層トロール網（開口部 50 m×50 m）によって反応をサンプリングし、コヒレハダカを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： 採集生物の 90%以上がコヒレハダカ。

コヒレハダカの平均体長： 約 100 mm

アリューシャン列島沖においては、沿岸の深度約 400 m 以下にスケトウダラの反応が出現し、コヒレハダカは沖合にスケトウダラの生息深度より浅い深度帯に、約-65 dB 以下の  $S_v$  で層状の反応となって出現する（安間私信）。